

経営理念

県民のひとりひとりが芸術・文化に親しみ、うるおいと生きがいに満ちた生活を営むことができるような文化的環境づくりを目指します。

経営基本方針

- 1 県と一体となって文化振興施策を推進することにより、県行政を補完し、県民の教育、学術及び文化の振興の一翼を担います。
- 2 県民のニーズを的確に把握しながら、県民が多様で優れた芸術文化に親しむ機会や、参加、創造する機会を提供するとともに、歴史や民俗等に関する調査研究や学習機会の提供、埋蔵文化財の保護、活用、文化団体への活動支援等を通じて、県民が文化をより身近に感じ、また、交流することのできる文化的環境づくりに取り組みます。
- 3 事業団の各施設が持つ機能やノウハウを最大限に発揮し、本県における文化振興の拠点としての役割を果たします。
- 4 事業団を取り巻く経営環境の変化に的確に対応しながら、職員の意識改革や資質向上を図り、役職員一丸となって経営改善を推進し、健全かつ適切な運営を継続的に行っていきます。
- 5 指定管理者の指定を受けた各施設の適切な管理運営を図り、指定管理者としての使命を果たすとともに、サービス向上やコスト削減に主体的に取り組めます。

平成28年度事業計画（総括）

平成28年度においては、上記の経営理念・経営基本方針の下、各事業所等における各種の事業を展開するとともに、希望郷いわて国体・いわて大会への文化面での参加や、東日本大震災からの復興支援に係る事業に継続して取り組むこととするほか、特に、若者や後継者育成の活動支援などに取り組めます。各事業所等における主な事業は、次のとおりです。

1 県民会館事業

「いわてJAZZ2016」や「ざ・CLASSIC2017」などの参画型・育成型事業や震災復興関連事業を継続して行うとともに、多様な県民の要望に応えるため、鑑賞型事業として人気の高い「天使にラブ・ソングを～シスター・アクト～」などのミュージカルの公演、オーケストラや演劇の公演を実施するほか、自主事業としては初の展示室を利用した光の博物館「チームラボ 学ぶ！ 未来の遊園地」の展示を行い、より多くの県民に舞台芸

術や展示の鑑賞の場を提供する。

また、指定管理事業の一環として、岩手県警音楽隊の協力をいただき、「避難訓練コンサート」を実施し、災害時の避難訓練を実施する。

2 埋蔵文化財センター事業

東日本大震災からの復興事業（復興道路整備等）に伴う 27 遺跡 120,748 m² の発掘調査を実施するほか、通常事業で岩洞ダム貯水池護岸工事に伴う調査などの 4 遺跡 5,020 m² の調査を新規に実施する。

また、「埋蔵文化財展」、「遺跡報告会」等を開催するなど、文化財保護思想の普及に努めるとともに、平成 29 年度の埋蔵文化財センター設立 40 周年記念行事に向けた準備を行う。

3 博物館事業

展示活動においては、特別展として世界文化遺産への登録を記念した「近代へのとびら—大島高任の挑戦—」展と、希望郷いわて国体・いわて大会の開催に合わせた「スポーツ博覧会いわて（仮）」展、企画展として国立科学博物館とのコラボレーションによる「古生代の大量絶滅と回復（仮）」展、テーマ展として「大津波と三陸の生き物（仮）」展、「江戸から明治 岩手の風景画（仮）」展を開催し、これに合わせて、「古生代の大量絶滅と回復（仮）」展、「大津波と三陸の生き物（仮）」展を沿岸各地で巡回展（自主事業）として実施するほか、秩父宮記念スポーツ博物館所蔵資料を活用してオリンピックレガシーに対する関心を高めることを目的に「秩父宮記念スポーツ博物館」展を実施する。

また、教育普及活動として各種講演会や講座、セミナー、観察会、体験教室などのほか、当館職員を派遣して行う「県博出前講座」や「学習利用」、「教材資料貸出」など学校教育との連携推進に取り組む。

自主事業においては、巡回展のほか、恒例の「博物館まつり」や「伝統芸能鑑賞会」などを開催する。

更には、継続事業として、陸前高田市からの委託事業で被災文化財等の保存・修復業務のほか、学校教育課程の中で活用可能な文化財のデジタル教材化を図る「岩手デジタルミュージアム構築事業」に取り組むこととしている。

4 美術館事業

展示関連の事業として、所蔵作品による常設展（第 1 期～第 4 期）とともに、「ジョルジョ・モランディー—終わりなき変奏—」、「映画誕生 120 年記念 野口久光—シネマ・グラフィックス展」、「2016 年の IMA（仮）—岩手の現代美術家たち展」、「第 25 回ブラティスラヴァ世界絵本原画展」など、6 つの企画展を開催し、国内外の優れた美術作品や岩手県内又は本県ゆかりの作家による作品の鑑賞機会を県民に提供していく。

特に、「映画誕生 120 年記念 野口久光—シネマ・グラフィックス展」については、報道機関との共同開催として「野口久光展実行委員会」を組織して企

画・運営することとしている。

また、教育普及活動事業として、展示関連の作品解説や講座・ワークショップ、美術普及関連の「オープスタジオ」や「アートデオヤコ」、「館長講座」や「学芸員講座」に加え、美術館長や学芸員等による「震災復興支援あーとキャラバン」を実施し、県民に美術に接する機会を提供する。

この他、自主事業として、ジョー・プライス氏の寄附金を活用して県内の学校に企画展鑑賞バスの運行を行う「プライス号で美術館に行こう！観賞バスツアー」や、「美術館まつり」、「ナイトミュージアム」、「ファミリータイム」、「ミュージアムコンサート」など、県民が気軽に足を運び、美術館に親しんでもらえるイベントの開催などを通じて、美術館の利用促進につなげていく。

5 総務部事業

県民の文化活動が活発に行われるよう、文化団体等の活動を奨励・援助するため、引き続き、文化振興基金助成事業を実施する。なお、岩手県文化芸術振興指針の改定を踏まえた特別事業として、芸術家派遣への支援や、若手芸術家等の育成、被災団体の備品整備支援など4事業を実施する。

文化芸術による子供の育成事業（芸術家の派遣事業）は、東日本大震災復興支援対応として引き続き実施する。

また、芸術文化団体と連携して第69回岩手芸術祭を開催するほか、事業団が実施する事業等の周知と事業団のイメージアップを図ることを目的に、マスコミの活用等による広報活動を展開するとともに、事業団の各事業所等の合同事業（事業団プレゼンツ）を開催する。